

【アメリカ】朝鮮半島コミットメント維持法案の提出

2018年7月26日、アミ・ベラ（Ami Bera）下院議員（民主党、カリフォルニア第7選挙区）は、在韓米軍や米韓合同軍事演習の重要性に関する法案〔朝鮮半島コミットメント維持法案（Maintaining Commitment on the Korean Peninsula Act）〕（H.R.6570）を提出した。この法案は、米朝首脳会談（2018年6月12日）の後に米韓合同軍事演習の中止を発表したトランプ大統領を、牽制する内容となっている。

具体的には、「在韓米軍の大規模削減・完全撤退」と、「米韓合同軍事演習の大幅縮小・永続的中止」がもたらしうる影響についてまとめた報告書を、法成立後180日以内に連邦議会へ提出するよう国家情報長官（Director of National Intelligence）に求めている。報告書が取り上げる内容としては、米軍の削減や演習の縮小に対する日韓両政府の見方、在韓米軍の指揮権移管の問題（朝鮮半島有事の際の韓国軍に対する米軍の作戦統制権を将来的に韓国軍に移管する問題）に与える影響、北朝鮮及び「北朝鮮以外のアクター」の攻撃に対峙する米軍・同盟国軍の能力に与える影響などを挙げている。

この法案の提出は、ベラ議員の単独によるものである。2018年10月12日現在、この法案は成立に至っていない。

海外立法情報課・西住 祐亮

・ <https://www.congress.gov/bill/115th-congress/house-bill/6570>